

1、施工前に必ずお読みください

- ◎内壁・外壁・床・家具・建具等でご使用できます。
 - ◎石シートは色、凹凸、模様、厚さ、重さが一枚一枚異なりますのでご注意ください。
 - ◎定尺寸法に若干の誤差（±1～2mm）があるため施工時には必ず確認してください。
 - ◎この施工方法は、不陸がない平滑な下地専用の施工方法です(不陸：1mm未満 目安)。
 - ◎施工前に、この施工説明書をよく読み、正しく施工してください。
 - ◎施工される前に、必ず品番及び輸送時の破損・傷の確認をお願い致します。その後、問題が発生した場合の責任は負いかねますのでご注意ください。
 - ◎当製品は、建築基準法・火災予防条例などの法令・法規に従って施工してください。
 - ◎湿気を帯びた下地、施工後に湿気を帯びる可能性のある下地には施工しないでください(剥がれや浮きの原因になります)。
 - ◎搬入時、現場内での運搬は必ず、二人以上で作業を行ってください。
 - ◎5℃以下の環境での施工は行わないでください(接着剤の硬化不良の恐れがあります)。
 - ◎施工中、施工後の1週間は十分な換気を行ってください。
 - ◎本製品は、事業者を対象とした業務用製品ですので、廃棄する場合は産業廃棄物として処理してください。
- 【製品残材（不燃ごみ）・段ボールケース（紙類）】
- ◎輸入品につき、為替レート変動により価格の変更や工場在庫の有無において廃番とさせていただくことがありますので予めご確認願います。



安全についてのご注意

下記の注意事項は、ケガや事故を事前に防止ためのものです、必ずお守りください。

注意事項

- 指定の専用接着剤・専用仮留めテープ以外は使用しないでください。
- 下地施工は弊社が指定する方法を厳守してください。

●運搬・作業時には滑り止めの手袋を着用するとともに、加工時に粉塵発生するため、保護マスク・保護メガネを着用してください。尚、防塵丸鋸を使用し、換気をよくして作業を行ってください。もし、粉塵が皮膚についたり、目・鼻・口に入った場合、速やかに水で十分洗い流し下さい。また、異常を感じたら、直ちに医師の手当てをお受けください。

- カット・加工した端部で手を切る可能性があるため、必ず端部をサンドペーパーで面取りをしてください。
- 使用する専用接着剤・専用プライマーには有機溶剤が含まれているものがありますので、換気と火気の使用には十分注意してください。

想定される危険性

剥がれによる落下の恐れ

ケガもしくは健康障害を生ずる恐れ

2、商品仕様

品名	サイズ(mm)	梱包入り数
NALEXIBLE STONE (ナレキシブル ストーン)	W610*H1220*T3 (±1～2mm)	1～20枚
	W1220*H2440*T3 (±1～2mm)	1～2枚
	W1220*H3050*T3 (±1～2mm)	1～2枚

別 売 施 工 部 品			サイズ・容量	梱包入り数
補助部材	アルミ 目地 金物	T型・L型・H型	L = 2500mm	10本
		入隅	L = 2500mm	10本
		出隅	L = 2500mm	10本
	専用ローラー		伸縮タイプ	1本
	UNコーティング剤(日本製)		4L・10L	1缶

3、施工工具

加工に使用する工具は下記をお使いください。但し、バリや欠けが起こらないように刃物は新しいものをお選びください。

① 切断加工

防塵丸鋸(チップソー・ダイヤモンドソー) サンダー、金切り鋸、デコラ鋸、マルチツール、金切りハサミ、カッター

施工時における切断用刃物について：

刃物の規格は「**外径**」「**刃厚**」「**刃数**」からとなっております。「**外径**」「**刃厚**」はお手元のハンディソーに合ったものをご使用ください。
「**刃数**」はできるだけ多い物をご使用ください。

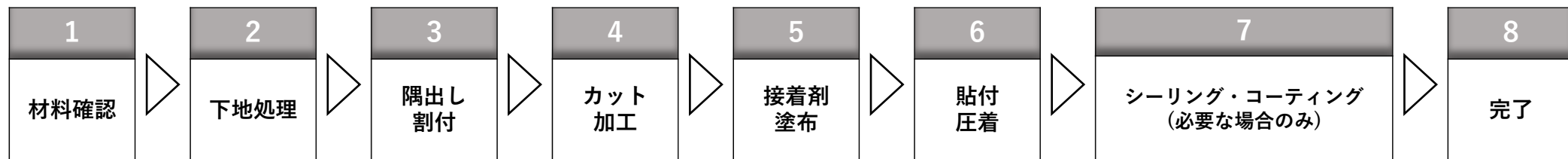
② 穴あけ加工

ドリル、ホルソー、ルーター、トリマー

③ 仕上げ

サンドペーパー、ヤスリ、デコラカンナ

4、施工の手順



5、施工方法

5-1、ノーマルタイプの場合

① 下地確認

- 適用場所：合板・石膏ボード・コンクリート・ガラス・アクリル板等、平滑な表面材。
- 下地は不陸のないように仕上げる
- 下地表面のごみ、油、錆など接着不良の原因になりますので、よく落とし、十分に乾燥させてください。
- リフォームなど下地に壁紙が貼ってある場合、剥がしてから施工してください。
(壁紙を剥がすことで下地の表面強度の低下が考えられる場合は補修を行ってください。)
- 下地材が油污れや、凹凸のある仕上の場合は新規に壁を貼るか、表面材を除去してから施工してください。

② 隅出し・割付

- 石シートの寸法・形状に合わせて、下地に隅出し、割付を行ってください。
- 下地または化粧材の貼り合わせ位置・塗布位置を予め決めてください。

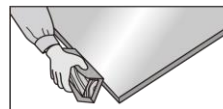
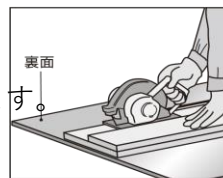
③ プライマーの塗布(必要な場合のみ)

- 曲面、塗装面、プラスチックなど接着しにくい下地、ケイ酸カルシウム板など表面強度の弱い材料や耐水を要求される場所に施工する場合には使用する必要があります。
- 下地面は必ず、乾燥させてください。
- プライマーは薄めずにそのまま使用してください。

プライマー(推奨)：ボンド シールプライマー # 25

④カット・加工

- 石シートは電動丸鋸、鋸、マルチツール、サンダー、万能ハサミで切断できます。
- 丸鋸での切断は裏面を上に行ってください。
- 丸鋸にて切断時には必ず当木を用いて、切断を行ってください。
- 粉塵が出ますので、必ず防塵マスクとゴーグルを着用してください。
- 着衣は長袖の作業着や手袋を着用してください。
- カット面は目の細かいサンドペーパーを当木に添えて軽く面取りしてください。
- 工具の使用は弊社の使用説明書に従って取り扱ってください。



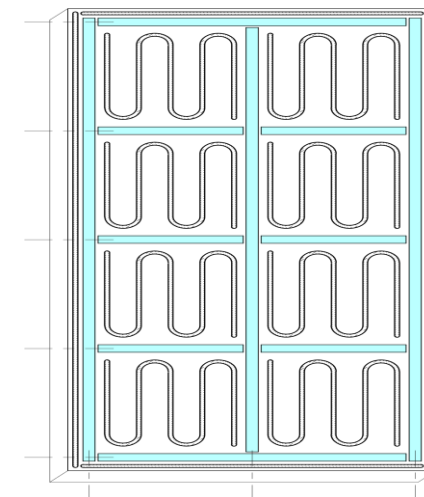
カットする時の注意点

- 切断は当木を用いて、必ず刃物を**表面**から入れて**裏面**から出るようにしてください。
(表面には保護フィルムが貼ってあります)
- 保護フィルムが付いていますが、取り扱いには充分ご注意ください。



面取り方法

- カット面は目の細かいサンドペーパーを当木にそえて**軽く糸面取り**してください。
- シーリング納めの場合、カットしていない面も**軽く糸面取り**してください。



⑤接着剤の塗布

- 石シート裏面のあらかじめ定めた位置に接着剤を塗布してください、原則としてはビード状(線状)に塗布して下さい。
- 接着剤は1本あたり1~2㎡の使用量となります。
- 曲面に使用する場合は接着面に対し、両面テープの本数、接着剤の塗布の本数を増やしてください。
- いったん硬化した接着剤は有機溶剤で取り除くことができません。
- 石シートの表面などに付着した場合には、速やかに乾いた布または少量の有機溶剤を含ませた布で拭き取ってください。尚、有機溶剤を使用する場合には、石シート表面に影響がないか確認の上ご使用ください。

接着剤(推奨)：アイカ 「SE-1」 または「ボンド MPX-1」

両面テープ(推奨)：ボンド商事 「BD強力ボード用両面テープ」

⑥貼付け・圧着

- 石シートを所定の位置に貼り合わせを行ってください。貼り付けは接着剤を塗布後10分以内に行ってください。
- 石シートを貼付ける際に、中央部に浮きが発生しないようにご注意ください。尚、貼り付けは二人以上で行ってください。また、貼付け時に開口部・切り欠き部に歪みが発生しないようにしてください。
- 石シートの上から専用ローラーにて両面テープの位置を充分に加圧し下地面を密着させてください。
- 天井に貼る場合、接着剤が硬化するまで、仮止め用にビス、釘など必ず下地材に固定してください。



ローラー(推奨)：「UTC R-1000」 専用

⑦ジョイント処理

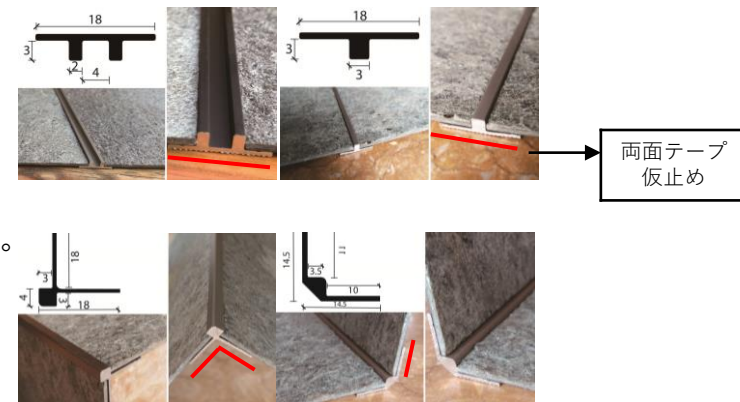
A・シールなどの場合

- マスキングテープを被着材両サイドに貼り付け、奥までしっかりとシリコーンを注入してください。
- ヘラなどを用いて、余分なシリコーンをかき取ってください。
- マスキングテープをゆっくりと内側に剥がしてください。
- 出隅部は切断後にサンドペーパーで面取りを行ってください。

B・金物使用の場合

- 仮止め両面テープを金物と壁など接着面に貼り付け、しっかり固定を行ってください。
- 石シートを金物に合わせて、石シートの裏面に両面テープ及び接着剤を使い、貼り合わせを行ってください。
石シートの貼り付けは接着剤を塗布後10分以内に行ってください。
- 石シートを貼付ける際に、中央部に浮きが発生しないようにご注意ください。尚、貼り付けは二人以上で行ってください。
また、貼付け時に開口部・切り欠き部に歪みが発生しないようにしてください。
- 石シートの上から専用ローラーにて両面テープの位置を充分に加圧し下地面を密着させてください。

テープ(推奨): ボンド WF003N



C・突き付けの場合

- 施工前に仮合わせを行い、突き付け個所は必ずペーパー等で面取りを行ってください。

5-2、ファブリックタイプの場合

①下地確認・②隅出し割付・③隅出し割付はノーマルタイプに準ず

④カット・加工

- 平らな作業台に置き定規を用いて丸鋸或いはカッターナイフにて切断。
- 曲線での切断は予め仮合わせを行い、金切りハサミにて切断。

⑤接着剤の塗布

- 接着面とシート裏面に速乾ボンドを用いてハケまたはヘラにて、まんべんなく塗布し、接着剤が乾き次第、片側よりヘラまたはローラーにて圧着貼り（ただしその際浮きの発生やヨレが無いよう慎重に施工願います）。
- 曲面に張り付ける場合はドライヤーを併用して下さい。

接着剤(推奨): 耐熱ハケ塗HG

5-3、スケルトンタイプの場合

①下地材

厚さ3mm～5mmの亚克力板またはガラス板を使用してください。

②接着剤の塗布

●石シート裏面のあらかじめ定めた位置に接着剤（クリア色）を塗布してください、透明の両面テープを併用し原則として300～500mm間隔でビード状(線状)塗布を行ってください。

●ダーク系の場合は石シートの裏面に接着剤(クリア色)をヘラにて均等に全面を塗布してください。

③照明

●光源は最低150mm以上離してください。

接着剤(推奨)：シリコンコーク(クリア色)

5-4、モザイクタイプの場合

①下地確認・②隅出し割付・③隅出し割付はノーマルタイプに準ず

④カット・加工

●金切りハサミや丸鋸にて。

⑤貼付け

●裏面の剥離紙を剥がします。接着剤は必要ありません。

●シール面を壁に貼り付けて、しっかりと抑えてください。

5-5、外部及び床面施工の場合

●降雨時、降雪時及び強風時など施工に支障のある場合、またはこれが予想される場合は施工を行わないようにしてください。

●気温が5℃以下及び5℃以下になると予想される場合は施工を行わないようにしてください。

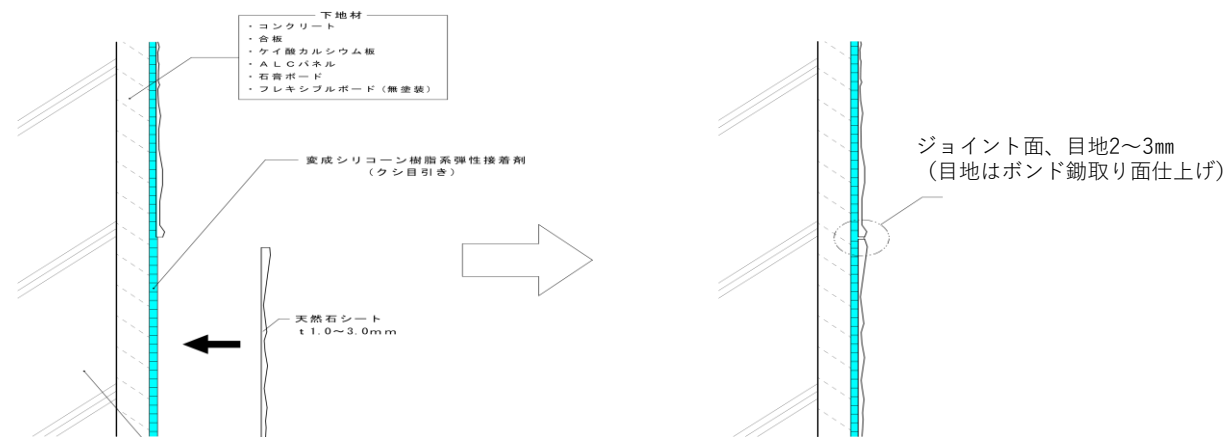
●平坦な下地に接着剤を全面に塗布し、天然石シートをもみ込みようにたたき押さえして貼り付けを行ってください。

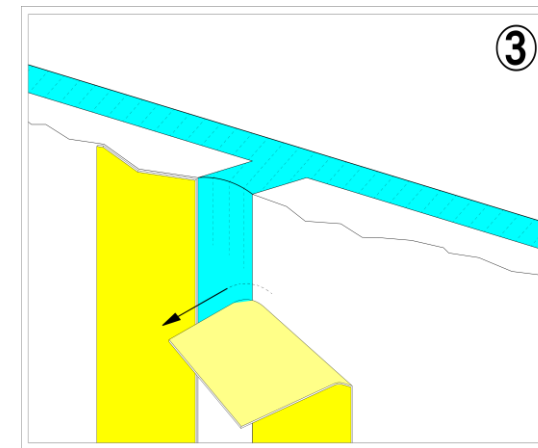
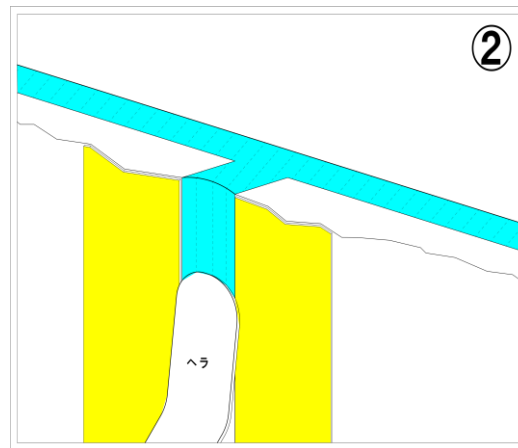
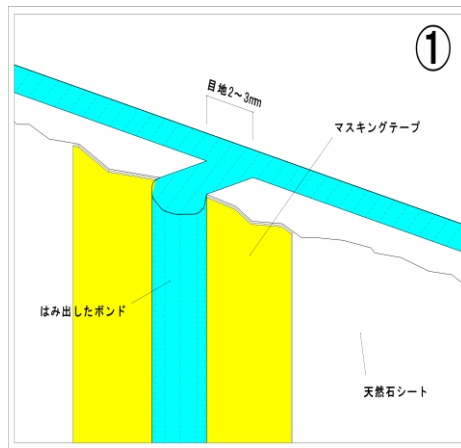
●施工図と照合し基準から仕上げ墨出しを行い、各部位と伸縮調整目地や構造スリット等の取り合いについて寸法の確認を行ってください。

●**接着剤のはみ出した分がそのまま目地として行ってください。**

●マスキングテープを被着材両サイドに貼り付け、奥までしっかりとシリコーンを注入してください。

●ヘラなどを用いて、余分なシリコーンをかき取ってください。





※合板、石膏ボードなどの場合、極端な反り、暴れは剥離の原因となるため、変形のないような十分な厚みのものを使用し、強度が不足している場合は、重ね張りを行う等の補強を行ってください。

施工の手順



施工部材(推奨)

商品名：タイルエース石材用（内・外装）

下地材：コンクリート、合板、ケイ酸カルシウム板、ALCパネル、石膏ボード、フレキシブルボード(無塗装)

特徴：

- ①石シートの貼り付けに適した低汚染タイプの接着剤。
- ②湿式及び乾式下地の内外装の石シート貼りに使用できます。
- ③耐久性に優れた弾性接着剤

6、表面コーティング

- 塗布する面に埃や水分が付着していると密着性が損なわれますので、極力ほこりを取り除いてください。
- 優れた撥水性・吸水防止効果により、水を起因としたトラブルから石シートを守ります。
- 石の色、質感を損なうことなく、自然に仕上がります。
- 内外装に使用できます。
- ご使用に関しては、施工マニュアルを必ずお読みください。

推奨：①UNクリアコート

(石シート表面に撥水性、吸水防止効果あり、水を起因としたトラブルから石シートをまもります)

② UNクリアトップ

(石シート表面に硬質で保護膜を形成し、軟質な石シートを摩耗から守ります。)

③UN コンフレッシュ3000

(コンクリートタイプ専用。塩害、凍害、エフロ現象等からコンクリートを長期にわたり保護します)

7、在庫・保管に関して

- 在庫保管は直射日光や雨のあたる場所を避け、風通しの良い屋内に保管してください。
- 地面への直置きは避け、平らな場所でパレットなどの上に平積みしてください。
壁などに立てかけると、反りの原因になりますので、絶対におやめください。

